

2013年5月17日

会員各位

SAM東京支部事務局

2013年6月度例会のご案内

拝啓 皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、東京支部2013年6月度例会のご案内を申し上げます。今回は、澤泉会長のご紹介で小宮山栄先生にご登壇いただき、「気くばりミラーと箸りんぴっく」をテーマにお話しいただきます。

小宮山先生は、「死角を生かす気くばりミラー」で街のコンビニやATMの後方確認ミラー、ボーイング787までを網羅するコミー株式会社の代表取締役でいらっしゃいます。また、国際箸学会の立ち上げにご尽力され、現在会長として箸の大切さを公開講演会や会報の発行など情報発信されていていらっしゃいます。今回の例会では、①なぜ看板業からミラー屋になったか？、②なぜボーイングやエアバスに採用されたか？、③そして今、なぜ箸か？なぜ箸りんぴっくか？、などについてお話しいただく予定です。

つきましては、ぜひ多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

敬具

記

■日時：2013年6月19日（水） 12:00～13:40**■会場**：(財)商工会館 7階会議室

千代田区霞が関3-4-2 TEL:03-3581-1634

■スピーカー：コミー株式会社代表取締役 小宮山 栄先生

【略歴等】：長野県生まれ。信州大学工学部卒業。大学卒業後、日本精工（NSK）に入社、技術者として勤務。3年半あまりで退社し、様々な職業を転々とする。昭和42年、コミーの前身で看板業を業務とする「小諸文字宣伝社」を設立。後に知人の協力を得て回転式看板を発明。その後開発した回転式ミラー「回転ミラックス」が好評を博し、「鏡屋」に転進。多くの気くばりミラーを開発。平成3年、平面なのに視野が広い「FFミラー」で「91東京発明展」で奨励賞を受賞。平成9年、旅客機向けの「FFミラーAIR」を米ボーイング社が、さらに平成14年には欧州エアバス社が採用し、評判となる。独自の経営哲学を持ち、ユニークな中小企業経営者として注目されている。現在、国際箸学会会長も務める。関連書籍として、「コミーは物語をつくる会社です。」

（コミー（株）より6月発刊予定）、「なぜ、社員10人でもわかり合えないのか」（日経BP社の取材による出版）など。

■テーマ：気くばりミラーと箸りんぴっく**■会費**：3,000円**■ご出欠**：6月12日（水）までに同封ハガキでお知らせ下さい。

※お申込後にキャンセルされる場合は、前々日（土日を除く）までにご一報ください。

■次回：7月度例会は7月18日（木）を予定しております。

以上

【事務局】〒158-8630 世田谷区等々力6-39-15

(学)産業能率大学 総務課内(福田)

TEL 03-3704-9046

※SAM HP のアドレスが <http://samjc.jp/> へ変更になりました。